

# 令和2年度事業報告

## 1. 概要

我が国においては、少子高齢化が進行し人口が減少している中で成長力を確保していくために、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢にかかわらず活躍し続ける「生涯現役社会」を実現することが重要な課題となり、特に高齢者の就業促進として、高齢者の生きがいづくりや地域経済の活性化に重要な一翼を担うシルバー人材センターにはこれまで以上に大きな期待が寄せられています。

これを受け当センターでは、地域の高齢者が長年培った豊かな経験と知識、技能を活かすことのできる就業機会を確保し提供することにより、健康の維持や増進を図り、加えて社会参加を促進することで活力ある地域社会づくりに寄与してきました。

このような中、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、景気が悪化したことで受託事業は大幅な受注減少となりました。また、計画していた多くの行事も中止または規模を縮小しての実施となり、事業全体に多大な影響を与えています。

事業実績については、令和2年度は前年度対比 12,135 千円の減で 158,248 千円となりました。また、就業率（就業会員数／総会員数）については、適正就業推進委員会で未就業会員対策を進めたことで、前年度対比 0.7 ポイント増の 94.3%となりました。

当センターは、今後においても高年齢者の多様なニーズを的確に把握し、地域との連携と公益性の重要性を十分に認識し、地域社会に貢献するため事業の推進を積極的に展開してまいります。

## 事業実績結果

### (1) 受託事業（一般）

会員の就業機会の確保及び更なる会員拡大を図るため、普及啓発部会を中心に市町の広報誌やホームページの活用その他、新たに求人情報誌に会員募集記事を掲載し広報活動を行いました。その他、会員の希望、能力等に応じて公平に提供を行うとともに、適正就業基準の推進、ローテーション就業などを進めました。

#### 就業実績（派遣事業を含む）

項目	令和2年度	令和元年度	増減
年度末会員数	331名	345名	△14名
就業実人員	312名	323名	△11名
就業率	94.3%	93.6%	0.7ポイント
契約金額	158,248,102円	170,383,374円	△12,135,272円

### (2) 受託事業（業務委託）

#### ア 小郡市高齢者社会活動支援センター管理業務

高齢者が持つ技能、技術、趣味及び特技を活かすことで、高齢者自身の生きがいを創

出するための拠点づくりとして設置された小都市高齢者社会活動支援センターも15年目を迎えました。センターでは多目的ホールを利用して、感染症対策を十分に講じたうえで子育て支援事業の託児ルームを実施しました。また、大正琴、かんたんヨガ、健康体操などサークル活動を行う団体等に貸し出しを行いました。

会館利用者数 (単位：名)

部屋名	多目的ホール	会議室	合計
令和2年度	2,297	1,143	3,440
令和元年度	4,415	5,373	9,788

### イ ファミリー・サポート・センター事業

地域で支え合う子育て支援事業「ファミリー・サポート・センター」は、小都市が実施している事業で、開所当初からその運営をシルバー人材センターに委託され、順調に会員数を伸ばし活動が進んでおりましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、5月に予定していた1回目の会員養成講座の中止を余儀なくされたこともあり、依頼会員、協力会員共に登録数は横ばいとなりました。

濃厚接触となる可能性があるこの活動は、会員や子どもの健康が心配されましたが、マスク着用や手指消毒等を徹底して活動して頂いた事で、誰一人として感染することなく無事にこの一年を乗りきることができました。

今年度の特徴としては、登録と同時に援助活動を行うなど、急を要する活動が多かったことが挙げられます。

また、感染対策を充分に行った上で、2回目の会員養成講座に加え、新たにリフレッシュ講座を実施し、協力会員のスキルアップやコロナ禍でのリフレッシュに努めました。

毎年行っている赤ちゃん健診での啓発活動は、対面で行うことが難しくなり、関係機関と連携をとりながら、紙面に切り替えるなどの工夫をし、コロナ禍で出来る活動を行ってきました。利用件数は昨年を下回りましたが、無理をせず出来る人が出来ることを行いながら、活動を続けています。

<会員登録数>

<利用件数>

依頼会員	協力会員	両方会員	会員合計	預かり	送迎	利用合計
325名	76名	10名	411名	198件	240件	438件

### (3) 独自事業

高齢者の就業機会拡大のため、高齢者の創意と工夫により、就業を創出する事業として、刃物研ぎ、エアコン清掃、パソコン教室、石焼いも販売、しめ縄販売、おさらい教室、野菜販売、木工品販売の8つの独自事業を実施しました。

しめ縄販売では、コロナ禍で地域の集まりができず、作れなくなった神社用のしめ縄作製の依頼を多くいただきました。石焼きいも販売事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベント出店が出来なくなり、販売実績が大幅に減少する結果となりました。

契約金額実績

(単位：円)

職種	令和2年度	令和元年度	増減
刃物研ぎ	1,242,350	1,469,740	△227,390
エアコン清掃	1,685,000	2,388,000	△703,000
パソコン教室	326,020	336,080	△10,060
石焼きいも販売	1,755,170	2,905,840	△1,150,670
しめ縄販売	282,500	265,800	16,700
おさらい教室	17,500	66,500	△49,000
野菜販売	149,290	223,117	△73,827
木工品販売	505,595	540,625	△35,030
合計	5,963,425	8,195,702	△2,232,277

(4) 労働者派遣事業

福岡県シルバー人材センター連合会の労働者派遣事業の小郡大刀洗事務所として、臨時的かつ短期的な就業または軽易な業務の範囲において、派遣労働を希望する会員を対象に労働者派遣事業を実施しました。また、「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき、福岡県シルバー人材センター連合会と連携し、入職時訓練及び1年訓練を実施しました。

派遣事業実績

	令和2年度	令和元年度	増減
受注件数	59件	48件	11件
契約金額	38,521,646円	33,508,217円	5,013,429円
手数料収入	2,318,379円	2,066,230円	252,149円

(5) 普及啓発事業

シルバー事業の意義を社会に広く周知するとともに、高齢者の加入を促進するために次の取り組みを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため大半の行事を中止せざるを得ませんでした。

ア 全国普及啓発促進月間の取り組み

- ・役職員、会員による街頭チラシ配布（中止）
- ・小郡市長、大刀洗町長への表敬訪問
- ・県道鳥栖朝倉線のボランティア清掃作業（中止）
- ・総合保健福祉センター「あすてらす」にてPR用DVDの放映

イ 広報活動

- ・会報「あすなろ」第56号、第57号を発行して全世界帯に配付
- ・小郡市、大刀洗町の広報誌を活用したPR
- ・公共施設へのポスター掲示
- ・ホームページによる会員募集の動画掲載
- ・求人情報誌“パコラ”に会員募集記事掲載
- ・会員募集チラシを会員に配布して知人友人を勧誘
- ・女性会員拡大の推進

#### ウ 地域交流活動

- ・地域の小学生を対象にした夏休み工作教室の開催（中止）
- ・大刀洗町ドリームまつりへの参加（中止）
- ・出張サロン交流会の実施（中止）

#### エ 社会参加活動

- ・宝満川一斉清掃（中止）・花火大会会場清掃（中止）・西鉄小郡駅前周辺清掃（中止）
- ・ひばりロードレースコース清掃（中止）・大刀洗町運動公園清掃除草（中止）

### (6) 安全就業推進事業

#### ア 全体の状況

安全推進においても、コロナ禍の影響を大きく受けた一年となりました。例年5月より開始する安全パトロールを6月まで見合わせ、7月に予定していた安全就業促進大会は一旦11月に延期としましたが状況は改善せず、十分な対策をとれる会場の確保も困難でやむなく中止としました。地区会議における安全啓発も、緊急事態宣言が発令され開催できずに終わりました。そのような状況下、会員は安全就業と日頃の健康管理に加え感染防止対策にも神経を使うこととなりましたが、多くの会員の努力により就業を継続することができました。

#### イ 傷害事故、賠償事故

令和2年度は、賠償責任事故については大幅に削減することができました。中でも全国的な課題である刈払作業時の飛び石による事故が無かったことは評価されます。しかし、ここ数年落ち着いていた自動車の使用にかかわる事故は増加し、全体の6割を占めています。そのうち1件は、当センターが参加をお願いした福岡県警とJAFが主催の自動車安全運転講習会の最中に発生しており、参加会員がケガをされるという大変残念な事態となってしまいました。自転車、バイク、自動車とそれぞれの安全運転実技講習会を長年実施して参りましたが、講習会の担い手が年々減少しており、今後交通安全指導の方法を検討する時期にきております。

年度	傷害事故	賠償責任事故	交通事故(物損)	合計
令和2年度	4件	2件	4件	10件
令和元年度	4件	12件	3件	19件

#### ウ 安全就業委員会

年間5回開催した委員会では、事故の検証と安全パトロールの報告等を中心とした

討議を行いました。安全パトロールは、現場の作業状況を見た上ですぐ改善の必要がある場合はその場で指摘し、全体の課題として取り組みが必要な事項は委員会で協議することを基本として巡回しております。令和2年度も例年並みの13回69現場を巡回しました。

毎年、安全・適正就業強化月間である7月から10月まで実施している無事故チャレンジ運動を、新たに「無事故チャレンジ2020推進キャンペーン」としてチーム表彰をすることにより安全意識の高揚を図りましたが、安全就業促進大会の中止により全会員への周知の機会を失い、残念ながら盛り上がりには欠けました。7月から9月の猛暑により作業環境が著しく悪い時季を無事故で乗り切れることは、大きな意義があり今後につなげて参ります。

## (7) 相談事業

### ア 入会説明会・入会相談会の開催

シルバー人材センターに興味を持たれている高齢者のために、入会希望者説明会を、小郡市と大刀洗町でそれぞれ毎月2回開催しました。また、入会しようと思われた方には、その後入会申込者説明会を開催し、センター事業をよく理解したうえで会員登録をして頂きました。

#### 入会希望者説明会実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者	5	2	3	0	3	4	12	11	2	3	7	12	64

### イ 就業相談の実施

令和3年1月に正会員を対象に就業相談日を設け、就業相談を行いました。また、地域の高齢者を対象に、来訪や電話による就業相談や入会促進を行いました。

## (8) 研修・講習事業

就業に必要な基礎的な知識や技能を身に付け、会員のスキルアップを図るため講習会及び研修会の実施を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため大半の講習会及び研修会を中止し、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、対策を十分に講じて一部を実施することができました。

#### 講習会実施状況

講習会名	内容	参加人数
掃除講習	一般家庭のお掃除	16
子育て支援講習	保育所保育指針の活用	32
剪定安全講習	チェーンソー、脚立の安全な取扱い	21
合計		69

